

授業科目名： 教科（算数）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名：永井礼正・ 伊藤 一美 担当形態：オムニバス
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校） 領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「算数」（小学校） 領域に関する専門的事項 「算数」（幼稚園）		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
学習指導要領算数の改訂のねらい、意義と役割、構成内容、内容の取扱い、評価などを把握し、各学年の目標と指導内容を理解し、数学的活動を通じて、最小限必要な問題解決を目指す学習過程を構成し、その指導方法を修得する。			
授業の概要			
小学校算数の目標「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 （２）日常の事象を数理的に捉え見通しから筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 （３）数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。」の具体			

的な理解を図るため、各学年の目標、指導内容を理解し、主体的・対話的な深い学習を実現するような指導を展開するための知識・技能の獲得し、学習指導案の作成や模擬授業をとおして実践的な指導法の修得を目指す。

授業計画

第1回：学習指導要領と算数科の目的

第2回：量の解釈と数の体系

第3回：領域「数と計算」の内容と領域における数学的活動

第4回：領域「図形」の内容と領域における数学的活動

第5回：領域「測定」の内容と領域における数学的活動

第6回：領域「変化と関係」の内容と領域における数学的活動

第7回：領域「データの活用」の内容と領域における数学的活動

第8回：数学的活動

第9回：主体的・対話的で深い学び

第10回：第一学年の目標及び内容

第11回：第二学年の目標及び内容

第12回：第三学年の目標及び内容

第13回：第四学年の目標及び内容

第14回：第五学年の目標及び内容

第15回：第六学年の目標及び内容

総括：定期試験

教科書

文部科学省『小学校学習指導要領解説 算数編』

参考文献

齋藤一弥編著：平成29年度版 小学校学習指導要領の展開 算数編 明治図書出版
(2017)

学生に対する評価

スクーリング評価（25％）、レポート評価（25％）、科目修得試験（50％）を総合して評価する。